

# 農大有機 NEWS

## 第 2 号

発行；平成26年12月 島根県立農林大学校  
 〒 699-2211 大田市波根町 970-1 電話；0854-85-7012  
 HP：http://www.pref.shimane.lg.jp/nourindaigakko/  
 浜崎(有機農業専攻) 佐藤(研修担当)

年末の慌ただしさとともに、農大は2年生が1年間取り組んだ卒業論文のとりまとめ時期となりました。当専攻の野菜や水稲の作柄は年毎に安定するとともに、学生も逞しく成長しています。半年の取組の一端をご紹介します。



**【水田に看板設置】**  
 農大水田は大田市久手町の国道北側にありますが、このほど、学生のデザインしたかわいらしい看板を作成し設置しました。通りがかりにご覧下さい。

### 体験実習

今年の体験実習は次のとおり行いました。2年生は就職を控え多彩な分野にお世話になりましたが、入学して間もない1年生は多くのご迷惑をかけたことと思います。

#### 先進農家等体験実習（農留\_2年生）

市町	【分野】 受入農家	※有機
松江	【流通】山陰やさい家族	
松江	【観光】イングリッシュガーデン	
出雲	【露地野菜】馬庭農園	※
出雲	【有機モロヘイヤ】(株)いづも屋	※
出雲	【水稲】(株)勝部農産	
邑南	【水稲集落営農】(農)ファーム布施	
江津	【大型施設野菜】香の宮	※

#### 地域有機農業体験実習（1年生）

市町	【分野】 受入農家	※有機	eco:エコ推奨
松江	【水稲】福間忠士		※
松江	【野菜_イチゴ】野津喜洋		eco
松江	【野菜】島根おやさい本舗_安藤農園		eco
松江	【野菜】島根おやさい本舗_安立 学		※
出雲	【露地野菜】馬庭農園		※
江津	【露地野菜】NAO Farm		※
浜田	【施設野菜】いわみ地方有機野菜の会_三浦		※

### 卒論課題より

**水稲'きぬむすめ'の深水管理の抑制効果（担当：多々納颯人）**  
 深水湛水管理と浅水中干し管理（対照）を比較し抑草や収量への影響を調べました。  
 この結果、深水区の雑草の割合は中干し前は対照に比べ 16.4%、中干し後は 19.5%に抑えることができました。ヒエはもちろんのことコナギにも効果があることがわかりました。また、反収は例年になく多収となり両区とも 560kg となりました。



左:深水管理 右:対照

### 有機栽培向きキュウリ品種の育成（担当：衣笠久志）

耐病性のある固定種「ばてしらず」に節成性の高い品種をかけ合わせ選抜系統の固定化（2作目）を行いました。

選抜した2系統はうどんこ病耐性と高い主枝着果性を認め a 当たり約 600kg の収量がありました。



### 〔研修部門より〕有機農業実践研修終わる



5月から29回シリーズで実施した研修は17日に閉校式を行い無事終了しました。

内容・回数を充実させた今年は外部講師や県担当者にも講師として迎え、基礎技術から販売、実践事例等盛りだくさんで実施しました。また、今年から拡大した研修用圃場での実習も種まきから収穫、利用まで一通りの経験ができたのではないかと考えています。研修生は生産や流通等それぞれの立場で今回のつながりを生かし、有機農業の拡大に役立てて欲しいと思います。

### 〔連携農業者情報〕

#### 木村有機農園（木村晴貞氏）

雲南市吉田町で有機農業を実践している木村氏を招き第6回先進事例講義を行いました。多くのご苦労の中から見いだされた土づくりや害虫回避の方法などをわかり易く話していただきました。

また、社長を勤める道の駅「たたらば壱番地」を活用した地域野菜の販売、レストラン経営、そして、独自開発の米粉麺の取組みから、中山間地で農業を営むための貴重なヒントを教えてくださいました。



### 〔おしらせ〕

▶ 卒論課題発表会　とき：平成27年1月14、15日　農大視聴覚教室

▶ 先進事例講義【食育講演会】

演題：「食は命なり」　とき：平成27年1月18日、場所：ビッグハート出雲

玄米食や有機食材等を使った給食を実践している福岡市高取保育園から西園長に來県いただきます。

▶ 担い手育成研修の募集　期間：平成27年4月～1年間、応募締切：1月31日